DENON

プリメインアンプ

PMA-SX

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は出張修理対象製品です。
  詳しくは、「保証と修理について」（☞13 ページ）をご覧ください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意
△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止
⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜け
●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜け

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く
- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水をかけたり、濡らしたりしない
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意 禁止

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施 禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

総目次

ご使用になる前に

接続のしかた

操作

ステレオ音のエチケット

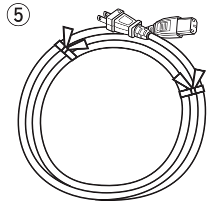


- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書） 1
② ご愛用者登録のご案内 1
③ ご愛用者登録用はがき 1
④ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内 1
⑤ 電源コード【本機専用】（長さ：約 2m） 1

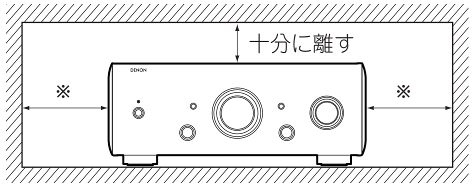


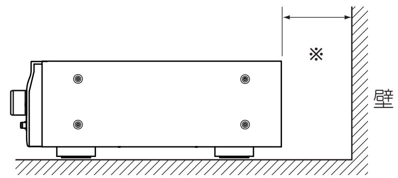
本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他の AV 機器などとは十分に離して設置してください。





ご注意

- 本機は大変重いため、ラックなどに設置する場合は、ラックの搭載制限重量を必ず確認してください。ラックの搭載制限重量については、ラックの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の移動は、必ず２名以上でおこなってください。

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

外観仕上げについてのご注意

本機のキャビネットの表面および音量調節つまみには天然木材から作られた部材を使用しています。そのために色や柄は自然のままであり、他にひとつとして同じ色柄のものはありません。塗装や最終仕上げでは当社の厳しい品質基準で管理しておりますので、安心してご使用ください。

お手入れについてのご注意

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

本機の特長

1. 繊細さと力強さを両立する UHC-MOS シングルプッシュプルサーキット

出力段には、リニアリティに優れ単体で大電流を流すことができる UHC-MOS をシングルプッシュプルで用いているシンプルな回路を採用しています。カスコードブートストラップ接続によって、UHC-MOS にかかる電圧を常に一定にコントロールするとともに温度安定性を高め、UHC-MOS の持つ優れた音響特性を安定して引き出します。

2. シンプルな全段バランスアンプ構成

本機は全段バランス構成とし、パワーアンプ部は BTL (Bridged Transless) 接続により出力を得ています。入力回路にはバランス、アンバランス両方に対応する INVERTED Σ BALANCE 回路を搭載。BTL 構成のパワーアンプでは、スピーカー出力電流がアース回路から完全に分離されるため、スピーカーは純粋に出力段にドライブされることになり、にじみのないフォーカスのあった音場と音像を再現します。

3. 防振対策を施した強力な電源部

電源部は大電流を要求される出力段と、安定性を要求される電圧増幅段を、トランス巻線段階から分離しています。整流用のコンデンサーには、低インピーダンス電極箔を採用した大容量高音質電解コンデンサーと、周波数特性の異なる高音質コンデンサーを組合せ高音質化を図っています。また、整流素子には低損失、低ノイズ、ハイスピードのショットキーバリアダイオードを採用。十分かつクリーンな電流供給を実現しています。
アンプの中で一番の振動源であるトランスを防振特性に優れた砂型鋳物ケースに封入。また、振動の影響を受けやすいコンデンサーの固定にも砂型鋳物ホルダーを採用。徹底した振動対応設計により、にごりのないクリアーな再生を実現します。

4. 高音質、高特性、高品位大型ボリューム

オーディオ用として最高峰といえる大型ボリウムを採用。低歪率カーボンインクや金メッキ多接点ワイヤブラシを採用し忠実な音楽再現性を実現しつつ最大減衰量の－ 120dB まで高精度の音量コントロールを可能としています。外部振動の影響や外来ノイズの混入を排除する黄銅削り出しケースの採用により高音質と高いチャンネルセパレーションを実現しています。また、温もりのあるバーズ･アイ･メープルの天然木を採用したボリュームノブが精緻な操作感を演出します。

5. フォノイコライザーアンプ分離独立設計

独立した専用安定化電源回路を備えたフォノイコライザー回路は、ローノイズ FET を初段に使用し優れた特性を備え高音質なアナログレコード演奏を楽しむことができます。また、独立電源のためイコライザー回路をオフにすることで、CD などの他のソースの再生への干渉の影響を排除することができます。

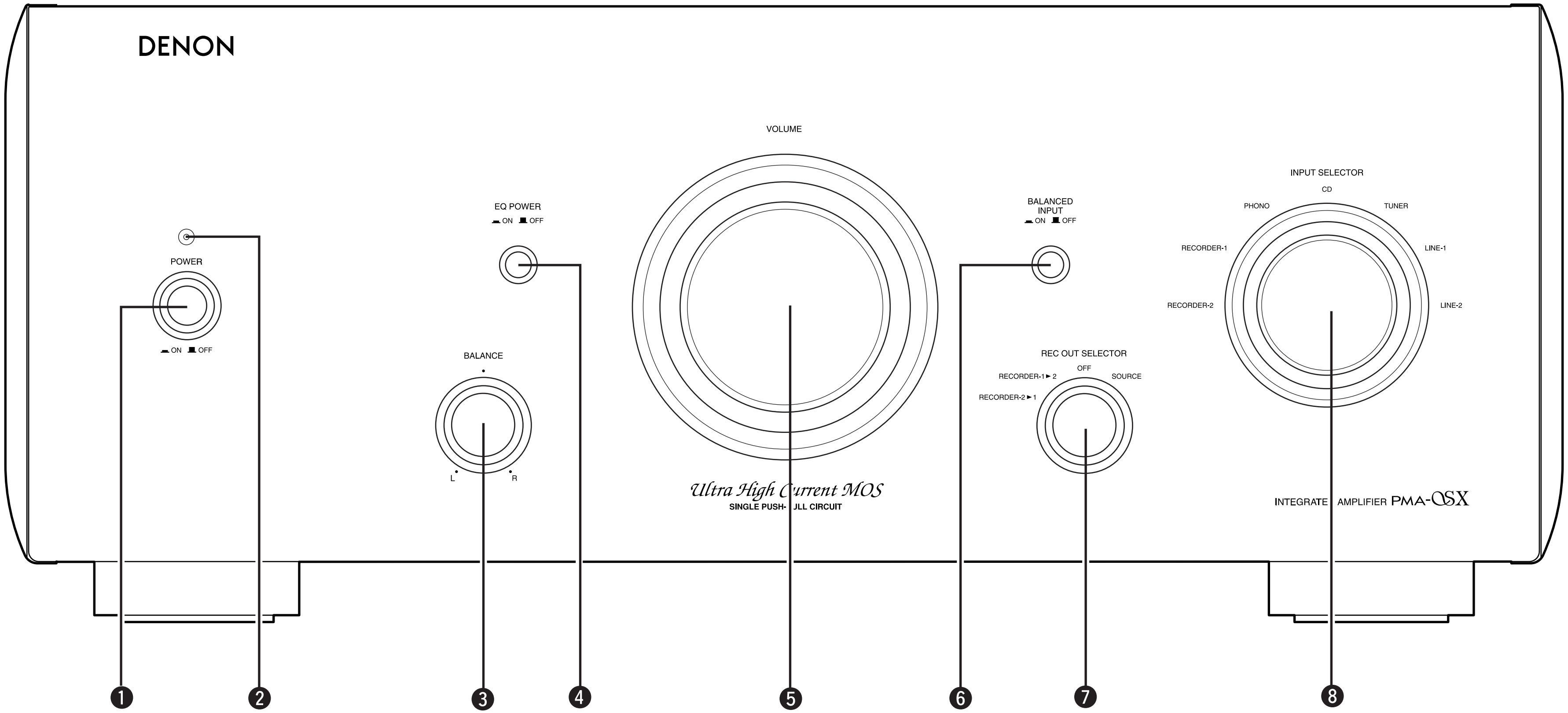
6. ブロック独立シャーシ構成

イコライザーおよび入力部、ボリウムコントロール部、電圧増幅部、電力増幅部、電源部、コントロール部を独立配置した６ブロック構成シャーシを採用。1.6mm 厚の銅メッキを施した鋼板によるシャーシは外部振動から信号回路を守り、また各回路間の干渉の影響を排除します。

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については、（ ）内のページを参照してください。

フロントパネル



❶ 電源スイッチ
（POWER ▂ON ■OFF）……………………（12）

❷ 電源表示……………………（12）

❸ バランス調節つまみ（BALANCE）……………………（12）

❹ フォノイコライザー電源スイッチ
（EQ POWER ▂ON ■OFF）……………………（12）

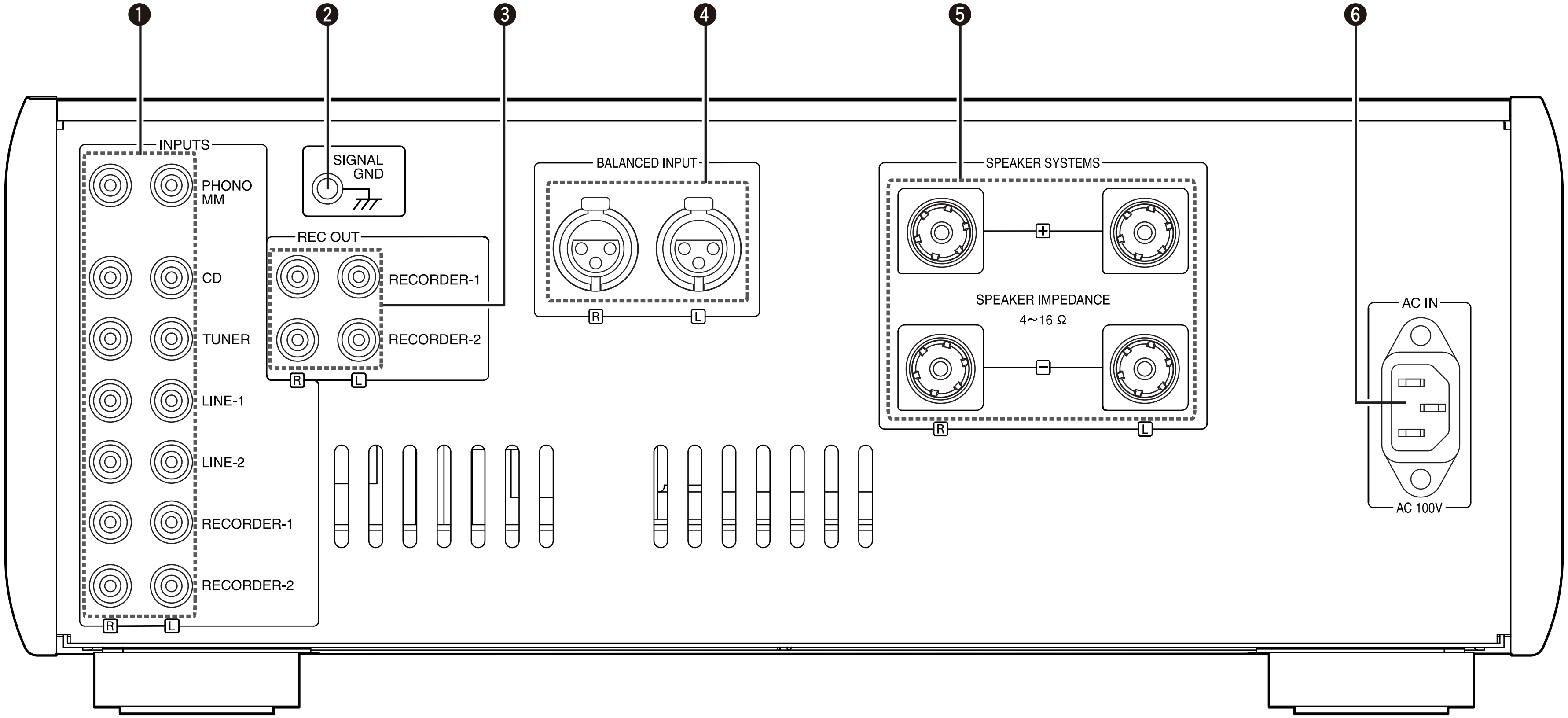
❺ 音量調節つまみ（VOLUME）……………………（12）

❻ バランス入力スイッチ
（BALANCED INPUT ▂ON ■OFF）……………………（12）

❼ 録音出力切り替えつまみ
（REC OUT SELECTOR）……………………（12）

❽ 入力切り替えつまみ
（INPUT SELECTOR）……………………（12）

リアパネル



❶ 入力端子（INPUTS）……………………………………（10、11）
❷ アース端子（SIGNAL GND）…………………………（10）
❸ 録音出力端子（REC OUT）……………………………（11）
❹ バランス入力端子
（BALANCED INPUT）……………………………………（10）
❺ スピーカー端子
（SPEAKER SYSTEMS）…………………………………（8）
❻ AC インレット（AC IN）………………………………（11）

接続のしかた

この取扱説明書では、対応するすべての音声信号方式の接続方法を説明しています。接続する機器に合わせていずれかの接続方法をお選びください。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとＬ、ＲとＲを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルを一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

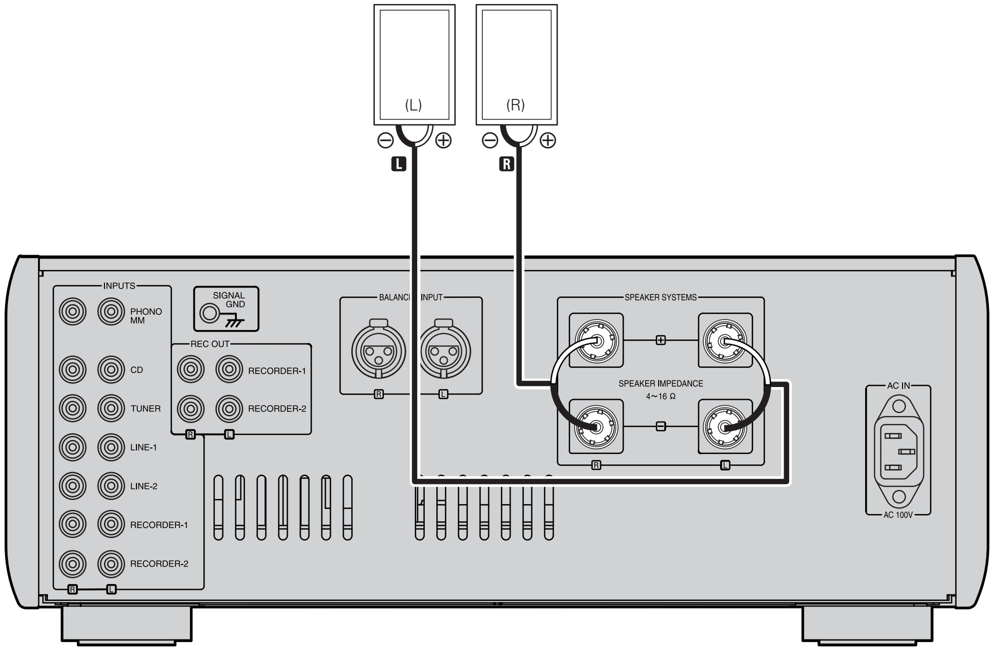
準備

接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

音声ケーブル	
アナログ接続（XLR）  バランスケーブル（市販）	**スピーカー接続** ＋  ＋ － － スピーカーケーブル
アナログ接続（RCA） （白） （赤）  ピンプラグケーブル（市販）	**信号方向** **音声信号：**  出力　入力  入力　出力

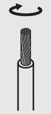
スピーカーの接続



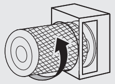
スピーカーケーブルを接続する

本機とお使いになるスピーカーの左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、＋（赤）、－（黒）をよく確認し、同じ極性を接続してください。

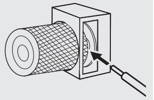
1 スピーカーケーブル先端の被覆を10mm程度はがし、芯線をしっかりよじるなど端末処理をおこなう。



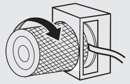
2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。

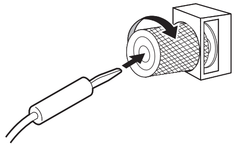


4 スピーカー端子を右に回してしめる。



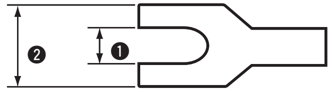
バナナプラグを使用する場合

スピーカー端子を強くしめてから、バナナプラグを差し込む。



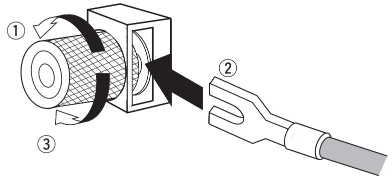
スペード端子（Y ラグ）を使用する場合

下記寸法のスペード端子をご使用ください。



❶ 6.8mm以上
❷ 16.0mm以下

① スピーカー端子を左に回してゆるめる。
② 開口部にスペードを挿入する。
③ 端子を締め付け固定する。



ご注意

- インピーダンスが 4 ～ 16 Ωのスピーカーをご使用ください。
- スピーカーケーブルは、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、＋側と－側が接触すると、保護回路が動作します（☞「保護回路について」）。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

保護回路について

次のときに保護回路が動作します。

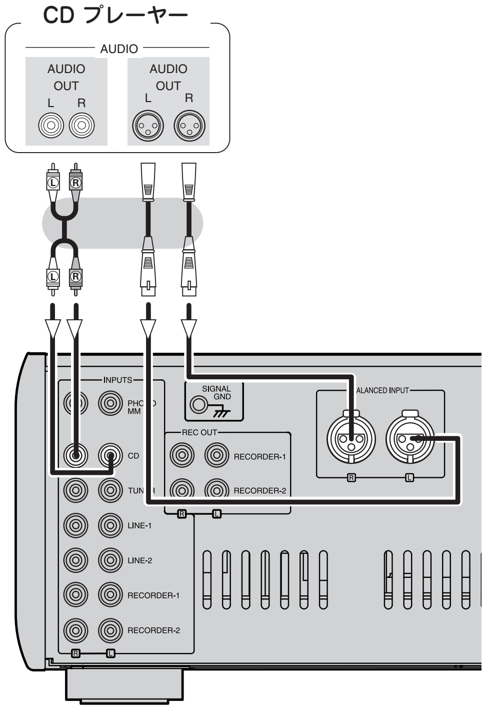
- スピーカーケーブルの芯線がリアパネルやねじに接触したり、スピーカーケーブルの＋、－側が接触しているとき
- 本機の周囲の温度が異常に高くなったとき
- 長時間大出力で使用して内部の温度が上昇したとき

保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源表示が赤色に点滅します。このような場合は、電源コードを抜いてからスピーカーケーブルや入力ケーブルの接続を確認してください。また、本機の温度が極端に上がっている場合は、本機が冷えるのを待ち、周囲の通風状態を良くしてください。その後、もう一度電源コードを入れ直してください。
本機の周囲の通風や接続に問題がないのにも関わらず、保護回路が動作する場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で、当社の修理相談窓口にご連絡ください。

再生機器の接続

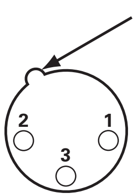
CD プレーヤー

お使いになる端子を選んで接続してください。



❑ アナログ出力端子をバランスケーブルで接続するとき

【バランスケーブルの信号配列】



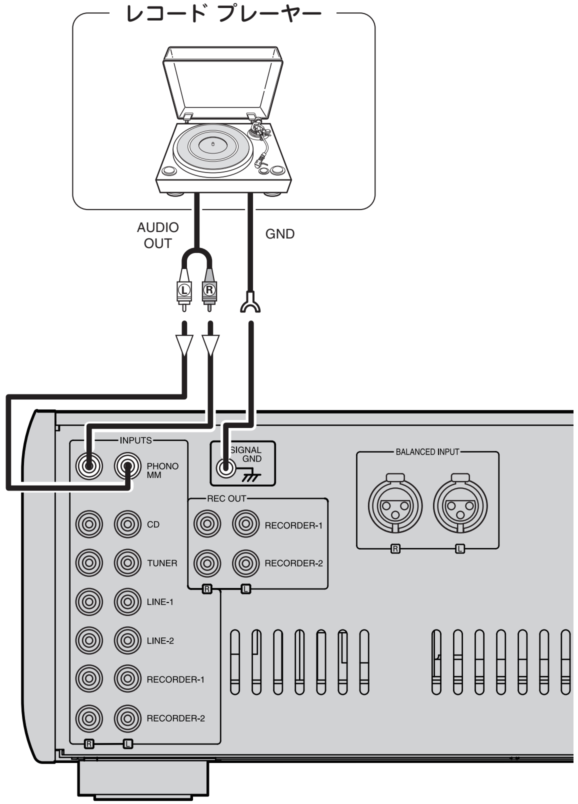
この凸部にコネクタの凹部を
合わせてください。

1：GND（グランド）
2：COLD（コールド）
3：HOT（ホット）

ご注意

HOT（ホット）と GND（グランド）、または COLD（コールド）と GND（グランド）を短絡して使用しないでください。

レコードプレーヤー

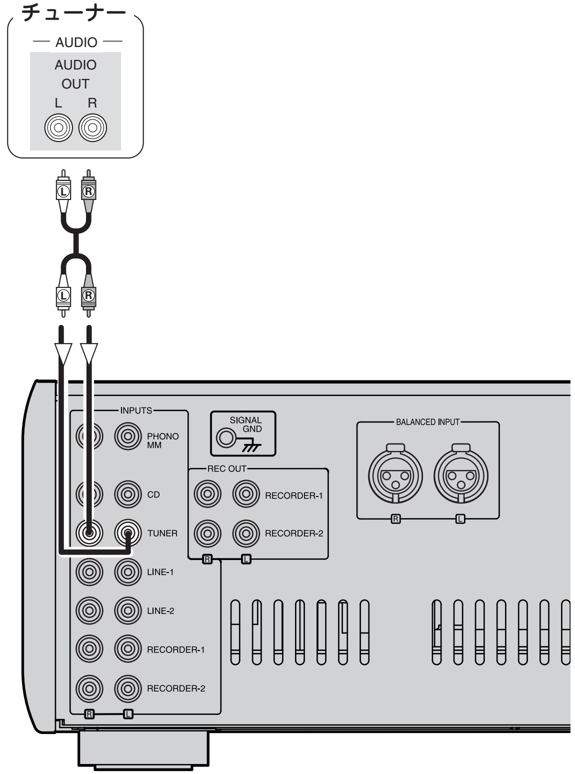


- レコードプレーヤーによっては、アースワイヤーを接続しているときに雑音が発生する場合があります。
  このような場合は、アースワイヤーを外してください。
- 本機の PHONO 入力は、MM カートリッジ専用です。MC カートリッジをご使用になるときは、ステップアップトランスやヘッドアンプを接続してください。

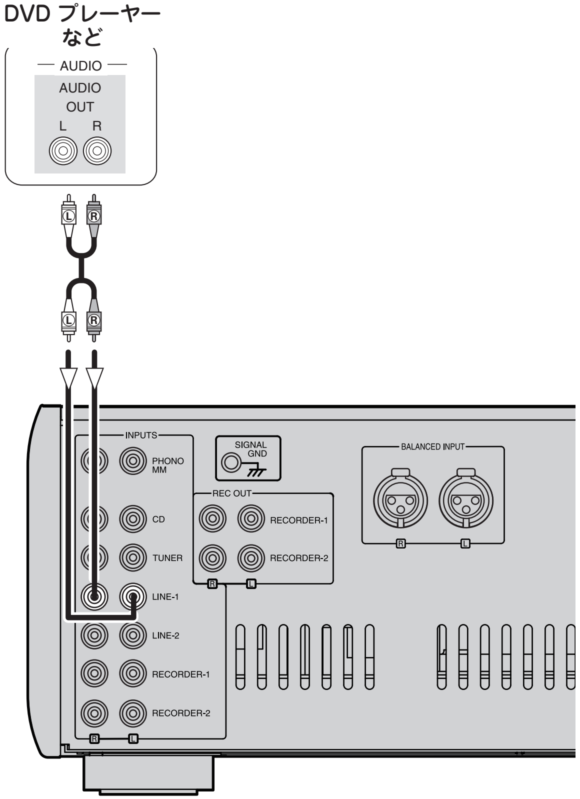
ご注意

本機の SIGNAL GND 端子は、レコードプレーヤーを接続した場合に雑音の低減をはかるもので、安全アースではありません。

チューナー

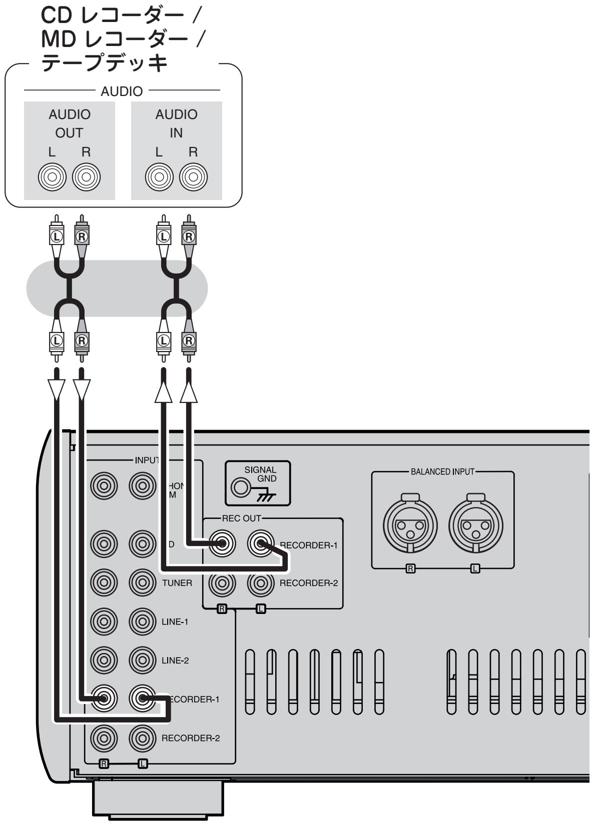


DVD プレーヤーなど（音声のみ）



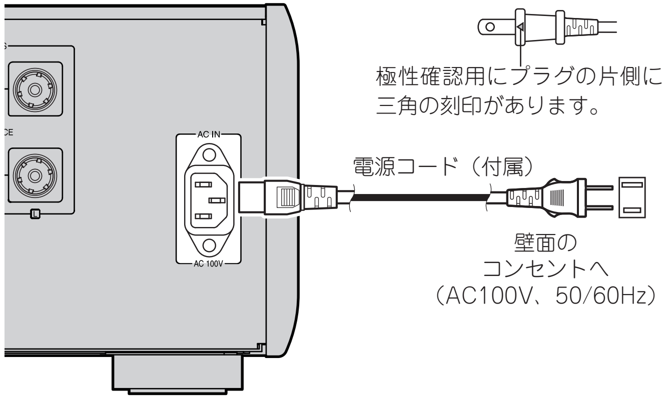
録音機器の接続

CD レコーダー / MD レコーダー / テープデッキ



電源コードの接続

- すべての接続が終わってから電源コードを接続してください。
- 本機に付属の電源コードには、極性が表示してあります。お好みの音質になるようにコンセントへ差し込んでください。



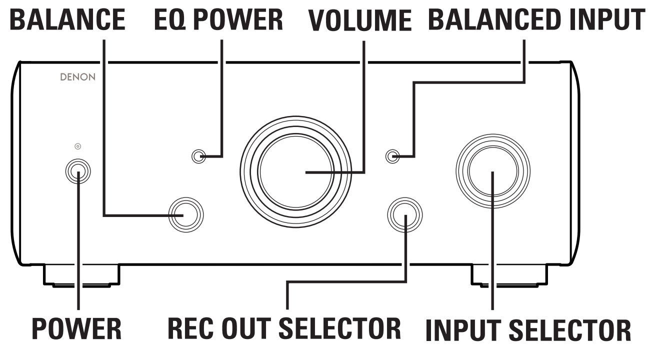
ご注意

- 電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- 電源プラグはできるだけ壁面のコンセントに直接接続してください。電源延長ケーブルなどに接続する場合には、電流容量を確認した上でご使用ください。
- 本機の AC インレットへの電源コードの抜き差しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 本機の AC インレットのアース端子は接続されていません。

接続が終わったら

電源を入れる （☞12 ページ）

操作



準備

電源を入れる

POWER を“▂ON”にする。
電源表示について
POWER を“▂ON”…………… 赤色
EQ POWER を“▂ON”………… 緑色
EQ POWER を“▀OFF”……… オレンジ色

❑ **電源を切るには**
POWER を“▀OFF”にする。
電源表示が消灯します。

再生中にできる操作

音量の調節をする

VOLUME を回す。

左右の音量バランスを調節する

BALANCE を回す。

再生

音声機器を再生する

1 【**INPUT SELECTOR** で入力ソースを選ぶとき】
INPUT SELECTOR で入力ソースを選ぶ。
RECORDER-2 ◄─► RECORDER-1 ◄─► PHONO ◄─┐
LINE-2 ◄─► LINE-1 ◄─► TUNER ◄─► CD ◄─┘
【**BALANCED INPUT** で入力ソースを選ぶとき】
BALANCED INPUT を“▂ON”にする。
数秒間無音状態になります。
※BALANCED INPUT 端子に接続している機器の入力ソースが優先されます。

2 機器の再生をはじめる。

※操作のしかたは、再生機器の取扱説明書をご覧ください。

レコードを聴く

1 INPUT SELECTOR で“PHONO”を選ぶ。

2 EQ POWER を“▂ON”にする。
- 電源表示が緑色に点灯します。
- 数秒間無音状態になります。

レコード以外のソースを再生するときは、よりクオリティの高い音質で再生するために“▀OFF”にすることをおすすめします。

録音

1 INPUT SELECTOR で入力ソースを選ぶ。
RECORDER-2 ◄─► RECORDER-1 ◄─► PHONO ◄─┐
LINE-2 ◄─► LINE-1 ◄─► TUNER ◄─► CD ◄─┘

2 REC OUT SELECTOR で“SOURCE”を選ぶ。
┌─► RECORDER-1►2 ◄─► OFF ◄─► SOURCE
└─► RECORDER-2►1

3 録音機器を録音状態にする。

※操作のしかたは、録音機器の取扱説明書をご覧ください。

4 再生機器の再生をはじめる。

※操作のしかたは、再生機器の取扱説明書をご覧ください。

2 台の録音機器でコピーする

本機の RECORDER-1 端子に接続した機器から RECORDER-2 端子に接続した機器へ録音できます。同様に RECORDER-2 端子に接続した機器から RECORDER-1 に接続した機器へも録音できます。

1 **REC OUT SELECTOR で “RECORDER-1▶2” または “RECORDER-2▶1” を選ぶ。**

2 **録音機器を録音状態にする。**

※操作のしかたは、録音機器の取扱説明書をご覧ください。

3 **再生機器の再生をはじめる。**

※操作のしかたは、再生機器の取扱説明書をご覧ください。

録音中に **INPUT SELECTOR** を切り替えると、録音音声が途切れることがあります。

保証と修理について

ご愛用者登録用はがきについて

本機に保証書は付属しておりません。
ご愛用者登録をさせていただいたうえで、お客様あてに「保証書」を送付させていただきます。
ご愛用者登録については、別紙「ご愛用者登録ならびに保証書送付のご案内」をご覧ください。

保証書について

保証期間はご購入日から 2 年間です。

❑ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

❑ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

❑ 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 修理を依頼される前に、今一度この取扱説明書の内容をご確認ください。

❑ 修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名…… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号… 保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

お客様の個人情報の保護について

この商品の保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

故障かな？と思ったら

❏ **各接続は正しいですか**
❏ **取扱説明書に従って正しく操作していますか**

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症　状	原　因	対　策	関連ページ
電源が入らない。 または、入れてもすぐに切れる。	●電源コードの差し込みが不完全である。	●本機のリアパネルおよびコンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	11
電源表示は点灯するが、音が出ない。	●入力機器との接続またはスピーカーケーブルの接続が不完全である。 ●再生したい機器と **INPUT SELECTOR** つまみの位置が不適当である。 ●音量が小さすぎる。 ●入力ケーブルの接続が不完全である。	●接続を確認してください。 ●接続を確認して、適切な入力ソースを選んでください。 ●音量を適切な大きさに調節してください。 ●接続を確認してください。	8、10、11 12 12 10、11
片側だけ音が出ない。	●スピーカーケーブルの接続が不完全である。 ●入力ケーブルの接続が不完全である。 ●左右のバランスがずれている。	●接続を確認してください。 ●接続を確認してください。 ●**BALANCE** つまみを正しく調節してください。	8 10、11 12
ステレオのときに、各楽器の位置が左右入れ替わっている。	●スピーカーまたは入力ケーブルの接続が逆になっている	●接続を確認してください。	8
入力ソースが切り替わらない。	●**BALANCED INPUT** スイッチが“▂ON”になっている。	●**BALANCED INPUT** スイッチを“■OFF”にしてください。	12

【レコードプレーヤー】

症　状	原　因	対　策	関連ページ
音が出ない。	●**EQ POWER** スイッチが“■OFF”になっている。	●**EQ POWER** スイッチを“▂ON”にしてください。	12
レコード再生のときに、“ブーン”という音が出る。	●プレーヤーのアース線が外れている。 ●PHONO 端子の接続が不完全である。 ●プレーヤーの近くにテレビやビデオデッキがあるため、影響を受けている。	●接続を確認してください。 ●接続を確認してください。 ●設置位置を変えてみてください。	10 10 –
レコード再生のときに音量を大きくしていくと“ワーン”という音が出る。（ハウリング現象）	●プレーヤーとスピーカーシステムとの距離が近すぎる。 ●床が柔らかく振動しやすい。	●できるだけ離して使うようにしてください。 ●床を伝わってくるスピーカーの振動をクッションで吸収するようにして使用してください。プレーヤーにインシュレーターが付いていないときには、市販のオーディオインシュレーターをご使用ください。	– –
音がビリつく。 （ひずんで聞こえる）	●針圧が適当でない。 ●針先にゴミがついている。 ●カートリッジの不良。	●正しい針圧に調整してください。 ●針先をチェックしてください。 ●カートリッジを交換してください。	– – –

主な仕様

❏パワーアンプ部

定格出力：	両チャンネル駆動（CD → SP OUT） 50W ＋ 50W（負荷 8 Ω、20Hz ～ 20kHz）T.H.D 0.07%
実用最大出力：	100W ＋ 100W（負荷 4 Ω、1kHz）T.H.D 0.7%
全高周波ひずみ率：	0.007%（定格出力− 3dB 時）、負荷 8 Ω、1kHz
出力端子：	スピーカー負荷 4 ～ 16 Ω

❏プリアンプ部

イコライザーアンプ出力 （REC OUT 端子）：	定格出力　150mV
入力感度 / 入力インピーダンス：	PHONO（MM）　：2.5mV/47k Ω CD、TUNER、LINE-1、2、RECORDER-1、2 ：105mV/47k Ω BALANCED INPUT ：105mV/100k Ω
ＲＩＡＡ偏差：	PHONO　：20Hz ～ 20kHz、± 0.3dB（MM）

❏総合特性

ＳＮ比： （A ネットワーク）	PHONO（MM）　：88dB（入力端子短絡、入力信号 5mV 時） CD、TUNER、LINE-1、2、RECORDER-1、2 ：105dB（入力端子短絡時）

❏総合

電源：	AC100V　50/60Hz
消費電力：	230W（電気用品安全法による）
最大外形寸法：	457（幅）181（高さ）509（奥行き）mm
質量：	30.2kg

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

索引

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30 ～ 12：00、12：45 ～ 17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、
次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　－　　－　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in Japan　5411 10197 005D